

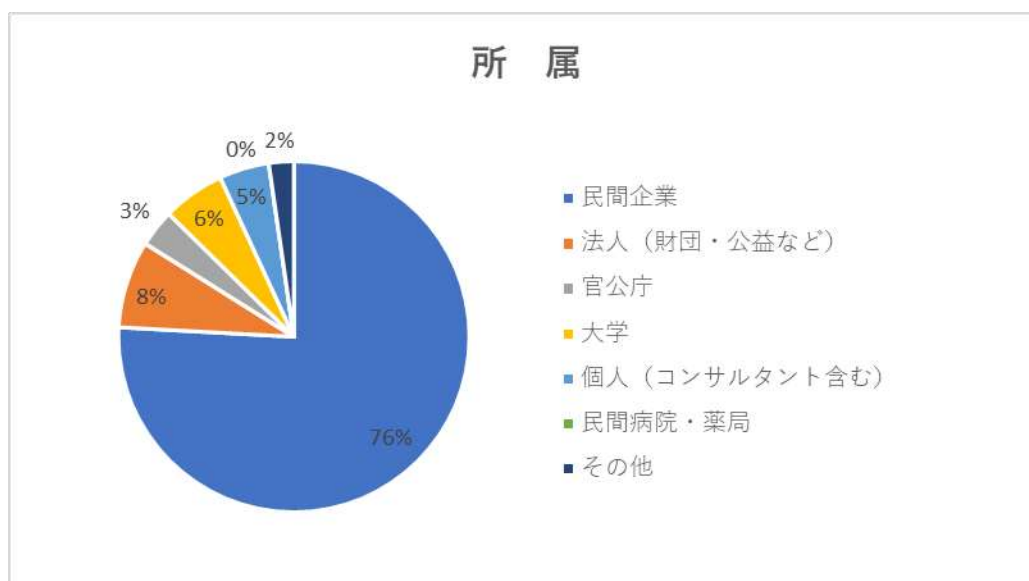
## バイオ戦略トークセミナー（ヘルスケア）

（2021年3月29日 WEB開催） アンケート まとめ

アンケート回答 87名  
 講師・関係者含め 232名=37%、聴講者 221名=39%

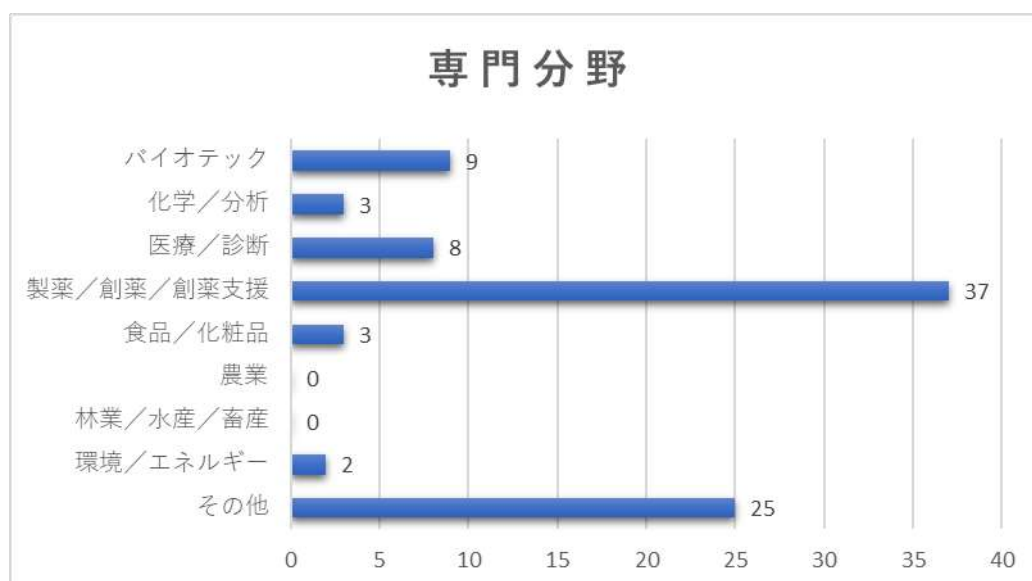
### 質問1. 所属についてお聞かせください

- ①民間企業：66      ②大学：5      官公庁：3      ③法人（財団・公益など）：7  
 ④民間病院・薬局：0      ⑤個人（コンサルタント含む）：4      ⑥その他：2



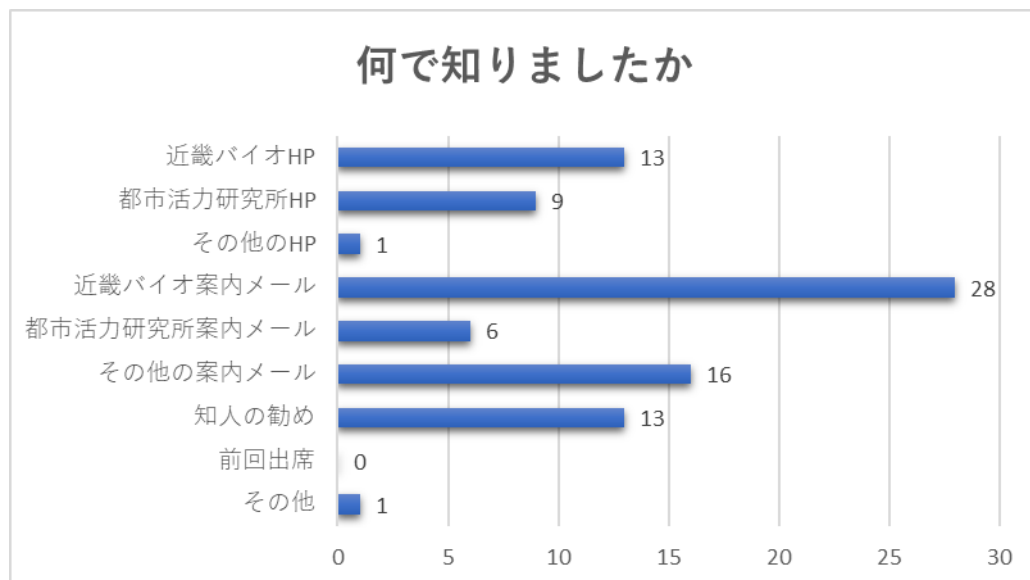
### 質問2. 専門分野についてお聞かせください

- ①バイオテック：9      ②化学／分析：3      ③医療／診断：8  
 ④製薬／創薬／創薬支援：37      ⑤食品／化粧品：3      ⑥農業：0  
 ⑦林業／水産／畜産：0      ⑧環境／エネルギー：2      ⑨その他：25



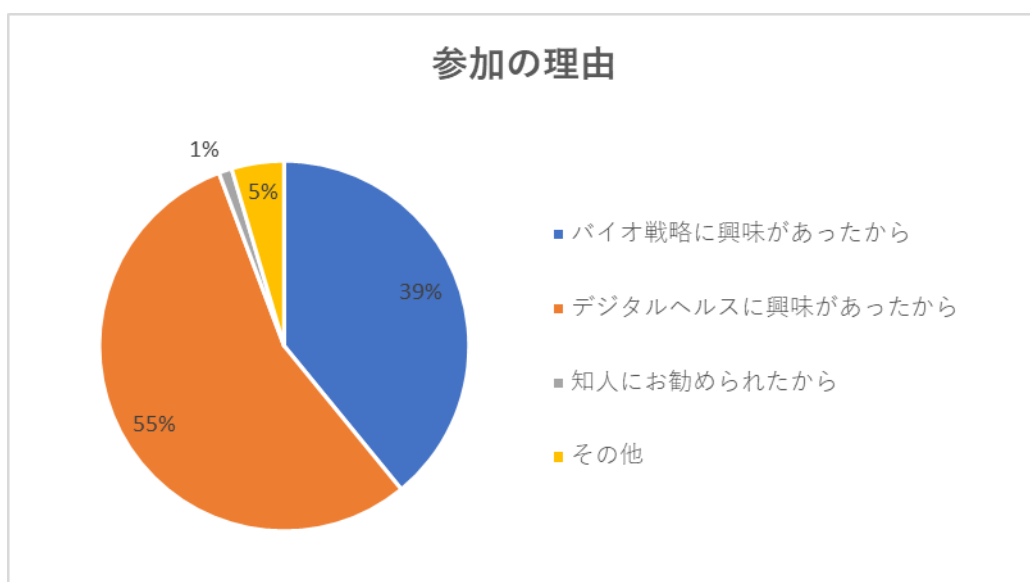
### 質問3. このセミナーを何で知りましたか

- ①近畿バイオホームページ：13
- ②都市活力研究所ホームページ：9
- ③その他のホームページ：1
- ④近畿バイオ案内メール：28
- ⑤都市活力研究所案内メール：6
- ⑥その他の案内メール：16
- ⑦知人の勧め：13
- ⑧前回出席：0
- ⑨その他：1



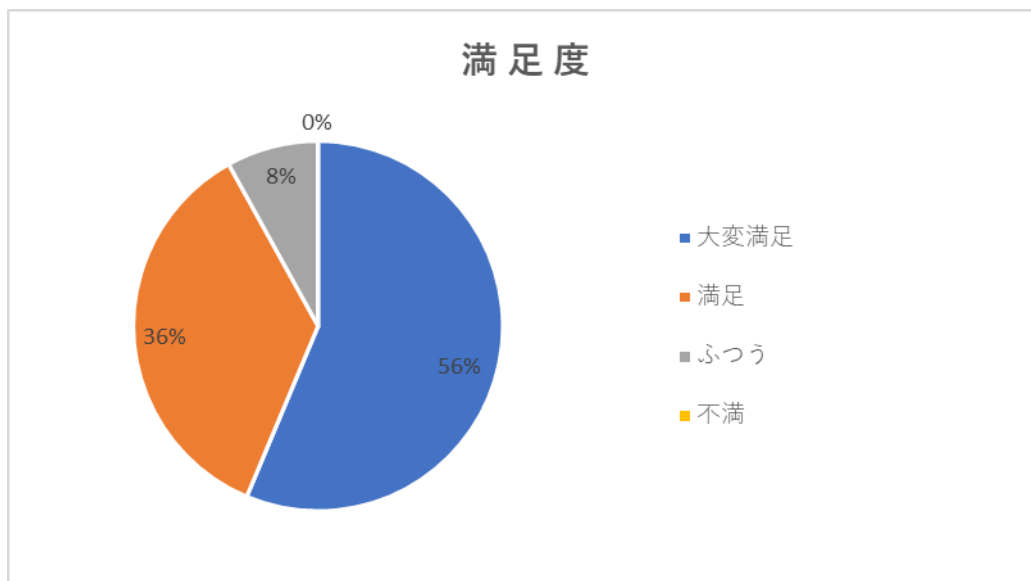
### 質問4. 参加の理由をお聞かせください

- ①バイオ戦略に興味があったから：34
- ②デジタルヘルスに興味があったから：48
- ③知人に勧められたから：1
- ④その他：4



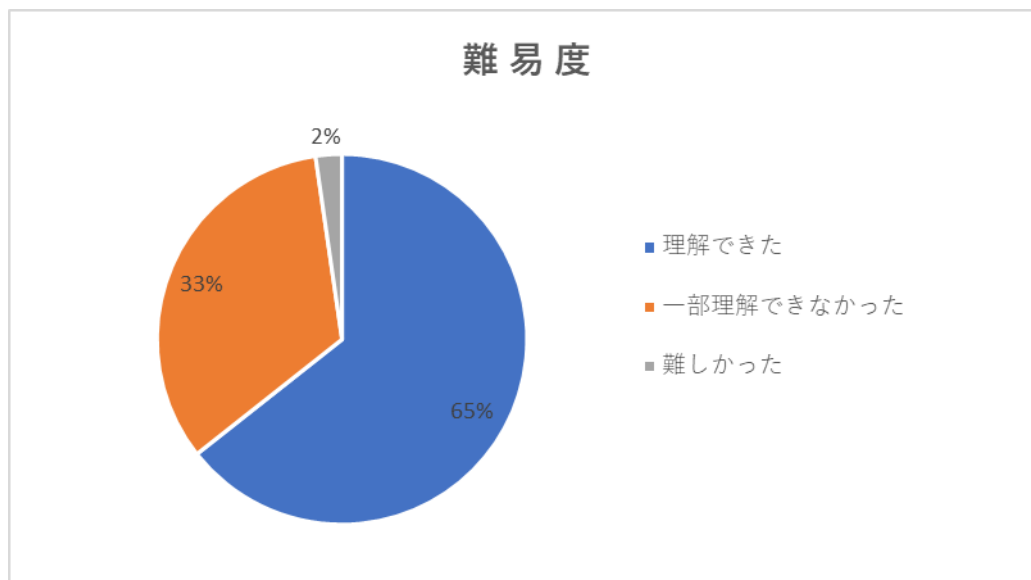
### 質問5. 満足度はいかがでしたか

- ① 大変満足 : 49      ② 満足 : 31      ③ ふつう : 7      ④ 不満 : 0



### 質問6. 難易度はいかがでしたか

- ① 理解できた : 56      ② 一部理解できなかった : 29      ③ 難しかった : 2



## 質問7. 感想をお聞かせください

- とても有益な内容のセミナーでした。製薬企業は、自社の利益への固執が強く、なかなか万博に対しても懐疑的な目が社内風潮としてあり、個人的には残念に思っています。今後、自社利益を優先する企業は淘汰されていくと思いますので、会社上層部に理解してもらう必要性を強く感じています。負けずに戦っていきたいと思います。またお力をお借り出来たら幸いです。どうもありがとうございました。
- 文化におけるバイオテックの役割ということで壮大かつ夢のあるお話に、相槌を打ちながら拝聴致しました。  
一方で、文化にまで昇華するには、まだまだ生活の中で社会実装の取り組みをふやさなければいけないと感じたところです。その中で、Exawizards 様の取り組みがその実装を加速させるのだらうと思いました。バイオ技術ではラボでの実験を始め協同作業が重要ですので、こういった議論、協働が広がっていくことを期待しつつ、自らも広げていきたいと思いました。
- 宮田先生、石山社長のお話がとても良かったです。  
ソサエティー3.0 から、4.0 を超えて 5.0 へ向かう日本の様子がぼんやりイメージ出来ました。2025 万博開催までの 4 年間、いろんなことに楽しんで取り組もうと思いました。
- 大所高所からのバイオ戦略について、ご講演、パネルディスカッションであり、満足できました。今後とも『命のウエルビーイング』に関わるステークホルダーが、すべて『ウインウイン』になれることを期待します。
- 両先生共に話が非常に面白かった。これから将来の日本を考える示唆に富んでいると感じた。やはり、データでは測れないものをどのようにデータ化していくか、その矛盾を解決していくことが、日本の課題であると感じた。パネルディスカッションでより一層理解が深まった。
- これまで、データヘルスサイエンスを考えた場合、まさに資本主義と社会主義の戦いとなり、資本主義では様々なデータ共有が難しい点で、不利だ感じていたが、本日の公演でデータの共有化の動きを知り、素晴らしいと感じ、まだまだ日本も巻き返せる機会が作れると感じました。  
本日の資料なども公開いただければ助かります。ありがとうございました。”
- 専門外ですが、いつも新しい知識習得に役立たせて頂いており、感謝致します。
- 2025 万博のレガシーに向けての「データ」収集、保管、管理、活用の重要性に触れて下さったことが大変よかったです。AI 作成においても、データは量、質ともに、日本が誇れる分野と思います。ライフインテリジェンスコンソーシアムの活動とぜひ、何か連携させていただければと思います。
- 普段はほとんど意識していない視座からデジタル社会の問題を提起していただき色々気づきが得られました。
- バイオカルチャー、どの分野もですが、技術の前に文化が大切かと感じました。
- 今回のお二人の講師の講演は素晴らしかった。いろいろと響くフェレーズがあり、参考にさせていただきます。

- パーキンソンの例があがっていたが、Dx で診断技術が進んで早期発見できるようになるかもしれないが、治療そのものはDx で何らかの技術加速はできないのだろうかと疑問を持った。
- 宮田さん、石山さんのお話が大変興味深くおもしろかったです。業界間の垣根が薄れてきている中、外で何が起きているか広く深く理解できましたし、なにより日本の優位性、製薬企業の優位性、の可能性が示唆いただけたことが大きな気付きでした。
- いい講演でした。
- とても面白く、興味深いお話でした。弊社も超コンサバな会社ですので、なかなか改革はすすんでおりません。弊社のみならず、4.0を通り超して5.0に行けるかどうかで会社や組織の存亡がかかるのだろうかと感じました。
- 今後そうなっていくんですね！！勉強になりました。でも理解できなかったことも多いので、また勉強します！！
- 宮田教授のお話しが非常に理解しやすく、DXについての理解が深まりました。製薬会社と取引をしている化学品専門商社に勤務しておりますが、製薬企業も変わろうとしているのを肌で感じており、過去からの同じ発想でビジネスをしているのは確実に取り残されていくと痛感しております。デジタル、AI など大変革されようとしている中で自分の立ち位置だけは確実に見失わないようにしていきたいと考えております。ありがとうございました。”
- 宮田先生のご見解をもっとじっくり伺いたかったです。
- 多元的多様性 を生かした 日本の5.0 社会を目指して我々も明日を探求していきたいと思えます。
- 慶應宮田先生、エクサウィザーズ石山様、ともにヘルスケア領域に留まらず、幅広いお話を聞くことができ、今後の事業を展開していく上で大変参考になる話を聞くことができ、大変参考になりました。